

”より良い荒川を後世に”

福島市民の憩いの水辺であり、生活の重要な一部となっている私たちの荒川が、「ふるさとの川」（建設省）に認定されました。

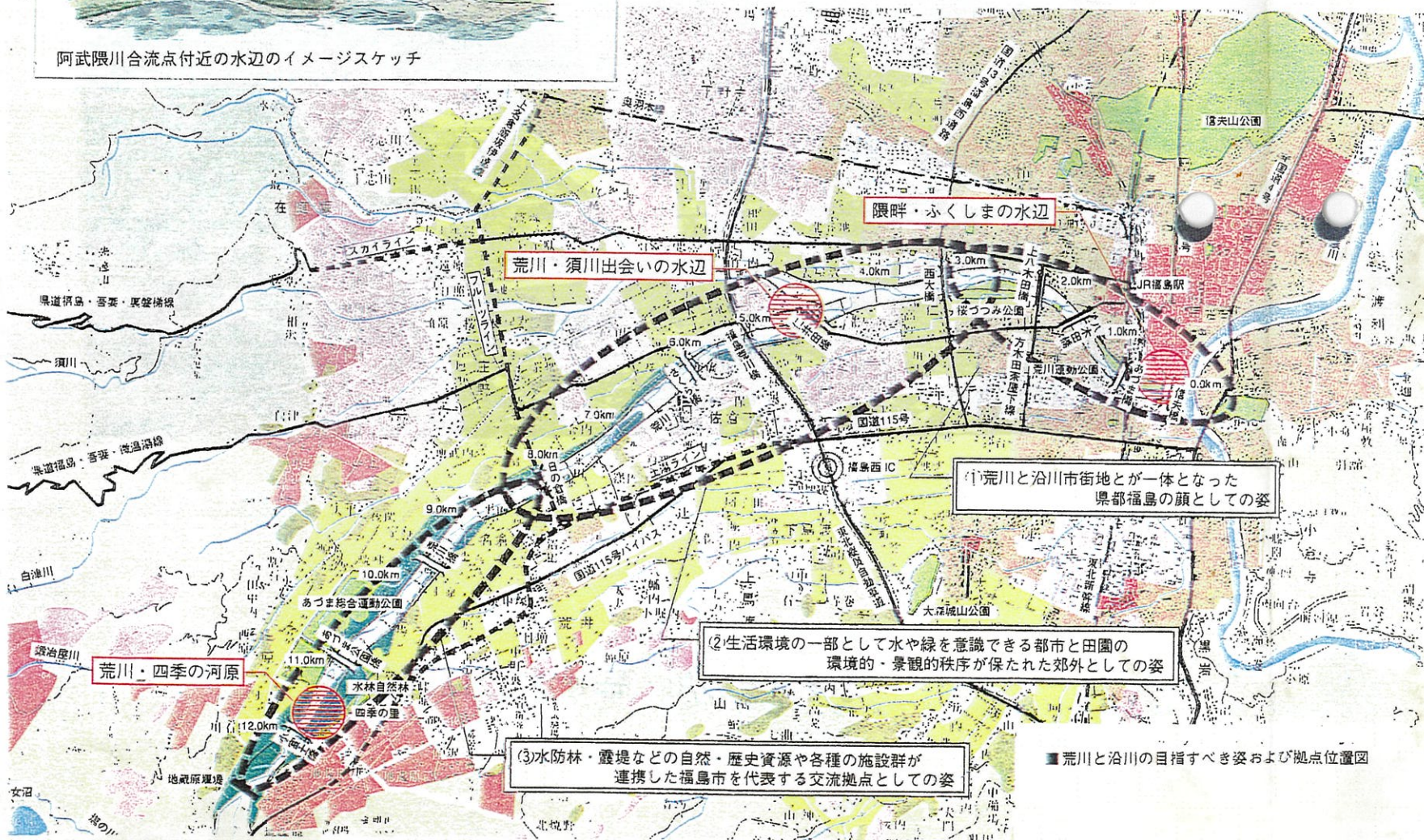
もとより荒川は、急流河川であることから古くから水害に見舞われてきましたが、先人達は霞堤や水防林などの防御策を講じるとともに、併せて良好な水辺空間をも残してくれました。

ふるさとの川認定後、策定された整備計画により今後さらに良好な水辺空間が形成されますが、それを地域に密着したより親しまれる空間にするのは、地域に住む私たちです。

”fan”は、荒川を通して積極的にまちづくりへの提案活動を行い、**すばらしい荒川を後世に伝えるための活動**を行っていきます。

ふるさとの川・荒川整備計画より

阿武隈川合流点付近の水辺のイメージスケッチ



”こんなこと、一緒にしませんか”

”fan”は、荒川の良さをもっと自分たちの目で確認し、みんなで話し合い、みんなで行動するため、次のような役割をします。

あなたも参加しませんか。

- 川づくり・まちづくりへの積極的な参加。（提案活動等）
- 荒川をもっと知るための交流・イベント・学習会の開催。
- 荒川の歴史、地域の活動等のPR。（仮称荒川通信の発行等）
- 会員同士のコミュニケーションを図る。（サロンの場の創出）
- 町内会等との連携。（河川清掃等のネットワーク化）

荒川フェスティバルの開催
（実行委員会への参加）



稚魚の放流

河川清掃

